

平成16年度 (社)日本建築技術者協会関西支部 技術委員会新年活動報告会

技術委員長 梶原健一

JSCA関西では本年より新しい試みとして新年会を開催することになりましたが、その折に、JSCA関西の技術委員会がどのような活動を行っているか、これから何をしようとしているかを会員の皆様に広く知って頂くため、各分科会の主査に活動報告を行って頂きました。ここではその概要を報告します。なお新年会は平成16年1月22日(木)15:00より大林ビル29階(六甲の間)にて会員・学会会員計63名の出席で行われました。

JSCA関西の技術委員会

JSCA関西には常設の委員会として事業委員会・広報委員会・技術委員会があり、現在はその他に建築構造用語事典編集委員会および阪神・淡路大震災10年記念事業委員会も活動を行っています。さらに技術委員会の中には、表1のように9つの分科会と3つのサテライトがあります。

表1 JSCA関西技術委員会分科会

地盤系分科会	(松尾雅夫・主査)
木構造分科会	(高木和芳・主査)
RC分科会	(西 邦弘・主査)
鉄骨系分科会	(藤田佳広・主査)
構造計画分科会	(嶋崎敦志・主査)
工業化・PC分科会	(阿波野昌幸・主査)
耐震設計分科会	(中村俊治・主査)
構造性能分科会	(辻 英一・主査)
情報システム分科会	(梁元勝彦・主査)
京滋会 サテライト	(宮本義博・代表)
兵庫会 サテライト	(久森敏平・代表)
奈良会 サテライト	(峠 政和・代表)

技術委員会は技術委員長が表1の各主査・代表を招集して年に4回開催し、各分科会間の調整および他委員会からの要請事項への対応協議を行います。さらに技術委員長はJSCA本部の技術委員会副委員長を兼ねているため、2ヶ月に一度開催される本部技術委員会に関西の活動報告と本部・支部間

における技術的諸問題への連携対応についての協議を行っています。

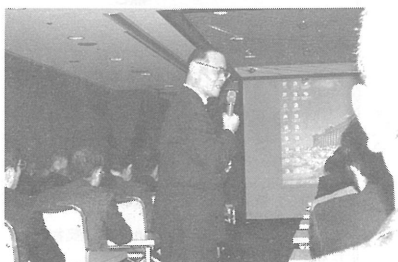


写真1 講評される山田稔名誉教授

分科会・サテライト活動

各分科会・サテライトの定例部会における活動内容は以下の通りです。

(a) 地盤系分科会 (27名)

①併用基礎の設計と計測事例の紹介、②高支持力杭工法の紹介と検討、③既存基礎の再利用・再資源化技術に関する検討、④「基礎設計に役立つ資料集」作成

(b) 木構造分科会 (22名)

①(財)日本建築総合試験所より「木造軸組構法建物の耐震設計マニュアル」作成業務受託、②豊田市より喜楽亭ほか6件の耐震性能評価・耐震補強設計および監理業務受託、引き続き他の地方行政機関からも受託予定、③木造軸組構法建物の耐震性能評価実務講習会を実施

(c) RC分科会 (27名)

①再生骨材・再生生コンに関する勉強と工場視察、②定期懇談会「生産現場を知り設計・施工に生かす」

(d) PC・工業化分科会 (25名)

①PC構造・PCa工法に関する設計資料の集積(実験データの紹介と現場見学)

(e) 鉄骨系分科会 (20名)

①鉄骨造に関する新材料・新工法の情報収集、②鉄骨造に関する法令に対する検討、③特徴ある工事現場の見学

(f) 構造計画分科会 (40名)

①技術項目ごとに設計事例の紹介(H15年:サブストラクチャー)、②JSCA関西若手技術者育成講座インストラクター

(g) 耐震設計分科会 (17名)

①免震・制震に関する情報収集(現場見学含む)、②学会会員による耐震設計セミナー

(h) 情報システム分科会 (16名)

①新プログラム評定・ASPサイトの検討、②限界耐力計算ソフトの検討、③RC耐震診断基準対応ソフト、④エネルギー法対応ソフトの検討

(i) 構造性能分科会 (11名)

①建築基準法の性能規定に関する検討、②(財)日本建築総合試験所と意見交換会、③JSCA規準の検討、④法令化された新しい検証法の検討

(j) 京滋会サテライト

①学会会員によるセミナー

(k) 兵庫会サテライト

①学会会員・行政担当者によるセミナー

(l) 奈良会サテライト

①現場見学会

活動報告会の講評

新年報告会にはJSCA大越会長や学会会員も出席されて講評を頂いたのでその一端を以下に記しておきます。

① JSCA大越会長

技術委員会の活動面では東京の本部では政策に関わる内容が多いが、関西では技術の中身に関する検討など、腰を落ち着けて取り組んでいる印象を受けた。中でも木造軸組については、関西での取り組み方が本来のあり方だと思った。

② 日置興一郎・大阪市大名名誉教授

耐震設計の理論はもともと関西発祥であり、皆さん自信を持って耐震設計に取り組んで欲しい。

③ 山田稔・神戸大名名誉教授

JSCA関西の熱心な活動に感銘を受けた。なかでも木造軸組に対する取り組みはまさにJSCAとして本来やるべきことだと思うので、神戸の悲劇を繰り返さないためにがんばって頂きたい。

指定確認検査機関の現状

この制度がスタートして早5年が経過しようとしています。スタートした年に、「民間検査機関の開設と中間検査の導入」と題して、特集を組ませて頂きました。この時紹介しました関西における検査機関は7組織でしたが、今回5年を経過するのを機に、現在の状況について、インターネット上で検索しました「指定確認検査機関」（28社）に、現状についてのアンケートを依頼し、回答を頂いたものについての掲載しました。お忙しい中、アンケートにご協力頂き、誠にありがとうございます御座居ました。

指定日順

名称 住所 電話 FAX URL 指定日 指定権者 業務区域	規模による制限				セールスポイント
	審査の可否	この1年の実績(件数)			
		面積	階数	種別	
工作物の審査	～500㎡	1～2	木造		
建築設備の審査	～1000㎡	3～5	鉄骨造		
限界耐力法の審査	～10000㎡	6～10	RC造		
告示免震の審査	10000㎡超	10超	SRC造		
(財)日本建築センター大阪事務所 大阪市中央区常盤町1-3-8中央大通Fビル14階 06-6947-2725 06-6947-7706 http://www.bci.or.jp/ H11.5.13 国土交通大臣	無し				
富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	○	5	2	0	
	○	1	3	8	
	○	34	8	30	
	○	16	43	18	
(財)日本建築総合試験所 大阪市中央区南新町1-2-10 06-6966-7565 06-6966-7680 http://www.gbr.or.jp H11.10.4 国土交通大臣	・超高層など構造方法に関する大臣認定を受ける建築物 ・高さ31m超の建築物 ・高さ20m超かつ延べ面積2000㎡超の建築物※ ・任意の技術評定を受ける建築物 ・防災計画評定を受ける建築物 等 ※は近畿2府4県のみ				
滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、愛知県、福井県、三重県、岡山県、広島県、山口県、福岡県	○	1	2	0	
	○	1	6	27	
	○	59	115	47	
	○	51	89	38	
日本ERI(株) 大阪市中央区北浜3-6-13日土地淀屋橋ビル 06-4706-4556 06-4706-4558 http://www.j-eri.co.jp/ H12.3.10 国土交通大臣 日本国内の全域	無し				
	○	29000	2900	2900	
	○				
	○				
(株)西日本住宅評価センター 大阪市西区北堀江2-2-25久我ビル南館6F 06-6539-5411 06-6539-5427 なし H12. 10. 20 国土交通大臣	・戸建及び共同住宅で高さ60m以内の建物 ・同一敷地内の工作物				
大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県、愛知県、岐阜県、三重県	○	平成14年度実績 件	6035		
	○	平成15年度実績(4～1月現在)5743 件			
	○				
(株)都市居住評価センター 東京都港区虎ノ門1-1-21 03-3504-2384 03-3595-0900 http://www.uhec.co.jp H14.5.13 国土交通大臣	木造建築物を除く。				
日本全域CFT造建築物以外は東京都(島嶼部を除く)、埼玉県、神奈川県、千葉県	○	94	0	0	
	○	166	268	155	
	○	1666	122	270	
	○	48	84	47	
ビューローベリタスジャパン(株)関西支店 大阪市中央区北浜4丁目1-21 06-6205-5552 06-6205-5545 http://www.bvic.com H14.9.2 国土交通大臣	無し				
埼玉県、千葉県、東京都(島しょ部を除く。)、神奈川県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県及び大津市の全域	○	2530	1810	1180	
	○	260	1190	2160	
	○	500	250		
	○	50	90		
阪神建築確認検査(有) 兵庫県西宮市今在家町3番6号 西宮ingビル7F 0798-38-5633 0798-38-5655 http://www11.ocn.ne.jp/~hanken/ H15.8.13 国土交通大臣	高さ31m以下かつ延べ10,000㎡以下				
兵庫県、大阪府	○	257	198	179	
	×	7	67	83	
	○	5	0	19	
	○	0	0	0	
(株)確認検査機構アネックス 滋賀県大津市末広町7番5号大津パークビル1階 077-511-4170 077-511-4171 http://www.soci.co.jp H14.2.2 国土交通省近畿地方整備局長	・高さ60mを越えるもの ・搭状比6を越えるもの				
滋賀県、京都府(一部北部を除く)、大阪府(一部南部を除く)、奈良県(一部南部を除く)	○	9353	7801	6871	
	○	262	2003	2700	
	○	263	75	282	
	○	27	26	15	

名 称 住 所 電 話 F A X U R L 指 定 日 指 定 権 者 業 務 区 域	規模による制限				セールスポイント
	審査の可否	この1年の実績(件数)			
		面積	階数	種別	
		工作物の審査	～500㎡	1～2	
	建築設備の審査	～1000㎡	3～5	鉄骨造	
	限界耐力法の審査	～10000㎡	6～10	RC造	
	告示免震の審査	10000㎡超	10超	SRC造	
(株)近畿建築確認検査機構 大阪府大阪市中央区農人橋2ー1ー10 06-6942-7720 06-6942-7718 Email:Kinnken@green.ocn.ne.jp H14.12.18 国土交通省近畿地方整備局長 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、	無し				迅速、親切を業務方針とし、設計事務所の身になって相談にのり、設計についての提案まで行う。審査・検査はできるだけ申請事務所の意向を尊重する。
	○	184	不明	2598	
	○	57	不明	954	
	○	53	不明	44	
	○	0	不明	19	
(有)阪神確認検査サポート 兵庫県尼崎市七松町2丁目1番5号 06-4869-5466 06-4869-5467 http://www11.ocn.ne.jp/~hankaku/ H15.4.24 国土交通省近畿地方整備局長 兵庫県、大阪府、京都府、滋賀県	・高さ31m以下(共同住宅は60m以下) ・塔状比6以下 ・片側土圧4層、高さ10m以下				迅速、丁寧、的確、柔軟(業務範囲60m以下の全ての建物へ申請中)
	○	810	606	528	
	×(申請中)	21	230	88	
	○	12	6	45	
	○	0	1	2	
(株)ジェイネット 兵庫県尼崎市長洲西通1丁目3番26号 06-6482-3561 06-6482-3610 http://www.inet-01.co.jp H15.6.30 国土交通省近畿地方整備局長 兵庫県、大阪府	無し				スピーディーで的確！
	○	1742	1377	1241	
	○	22	408	510	
	○	25	6	41	
	×	3	1	0	
日本 TESTING(株) 兵庫県神戸市中央区三宮町1丁目1番1号 078-392-8087 078-392-8089 http://www.nihon-testing.com H15.6.30 国土交通省近畿地方整備局長 兵庫県・大阪府・京都府・奈良県・和歌山県・滋賀県	高さ31m以下の建築物及び工作物、昇降機(共同住宅は60m以下)				建築確認、住宅金融公庫、住宅保証機構、住宅性能評価の業務を行っています。お客様を大切に心のこもったサービスに徹しています。
	○	2547	2037	2048	
	○	81	575	461	
	○	220	94	242	
	×	47	135	5	
(財)滋賀県建築住宅センター 滋賀県草津市草津3丁目13番25号 077-569-6501 077-569-6561 http://www.zai-ski.or.jp H12.10.3 滋賀県知事 滋賀県	無し				S 誠実な対応 K 確実な検査 J 自信ある行動 で社会につくします。
	○	2900	2800	2300	
	○	120	230	670	
	○	-	-	60	
	×	-	-	0	
(財)大阪建築防災センター 大阪市中央区谷町3丁目1ー17 06-4794-8270 06-4794-8272 http://www.okbc.or.jp H11.7.1 大阪府知事 大阪府内	・高さ31m以下 ・延べ面積 10000㎡以下 ・住宅系建築物 ・4号建築物は 全て				親切、迅速、確実、丁寧。信頼される機関を目指しています。
	○	12600	10166	10680	
	○	31	2471	1858	
	○	14	8	102	
	○			1	
(財)大阪市建築技術協会建築確認検査センター 大阪府大阪市北浜3丁目2番24号北沢ビル5階 06-4707-1188 06-4707-0088 http://www.kengi-osaka.or.jp/ H12.6.20 大阪府知事 大阪市	・高さ60m以下 ・床面積の合計が10,000㎡以下				確認・検査に関するどんなご質問でもお受けします。確認は共同住宅で7～10日間程度。一度お試しください。
	○	2489	482	522	
	○	63	20555	1934	
	○	81	56	89	
	○	0	40	13	
大阪確認検査(株) 大阪市中央区北浜3丁目2-23 信愛ビル3階 06-6203-0757 06-6203-0758 http://www.osaka-kakunin-kensa.com H13.9.11 大阪府知事 大阪市、堺市、豊中市、吹田市、高槻市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、寝屋川市、箕面市、門真市、東大阪市	・高さ31m以下(共同住宅は60m以下)				迅速、丁寧は当たり前。ハウスメーカー等の制限業種の資本が入らない真の第三者機関で、公正中立な立場でサービスいたします。
	○	2004	594	597	
	○	100	1540	131	
	○	145	71	1496	
	×	3	47	12	
(株)日本確認検査センター 大阪市中央区北浜3丁目1ー21 06-6231-1950 06-6231-1951 http://www.nikkaku.com H14.5.1 大阪府知事 大阪府	高さ60m以下				適確、柔軟、迅速、丁寧
	○	742	486	431	
	○	45	351	361	
	○	78	40	68	
	○	23	10	2	

名 称 住 所 電 話 F A X U R L 指 定 日 指 定 権 者 業 務 区 域	規模による制限				セールスポイント	
	審査の可否	この1年の実績(件数)				
		面積	階数	種別		
		工作物の審査	～500㎡	1～2		木造
		建築設備の審査	～1000㎡	3～5		鉄骨造
限界耐力法の審査	～10000㎡	6～10	RC造			
告示免震の審査	10000㎡超	10超	SRC造			
建築検査機構(株) 大阪市中央区北浜3丁目1-22 06-6231-8226 06-6231-8227 http://www.kenchikukensa.com H14.9.24 大阪府知事 大阪府内全域	無し				迅速かつ丁寧をモットーにしてお客様のあらゆるニーズにお答えしております。	
○	2000	900	900			
○	70	1200	1000			
×	70	40	100			
×	5	10	5			
(財)兵庫県住宅建築総合センター 兵庫県神戸市中央区雲井通5丁目3番1号(サンバル6階) 078-252-2786 078-252-0096 http://www.hvogo-ikc.or.jp H11.10.1 兵庫県知事 兵庫県全域	住宅(共同住宅を除き長屋住宅を含む)、併用住宅で床面積が500㎡以内の建築物				性能保証登録住宅・性能評価住宅・公庫融資住宅・公庫適合証明融資住宅の同時審査・検査が可能	
×	1300	1220	1265			
×	-	80	30			
×	-	-	5			
×	-	-	-			
(財)神戸市防災安全公社 兵庫県神戸市中央区雲井通 078-291-1119 078-291-1118 http://www.kobe-dpc.jp/ H12.10.1 兵庫県知事 神戸市内全域	但し、高さが45mを超える、搭状比が6を超える場合は、別途指定性能評価機関において任意の技術評定が必要				Smile(快適)・Speed(迅速)・Safty(安心)の3つ「S」をモットーにお客様の立場に立って、業務を行なっています。	
○	3466	3116	2093			
○	62	4480	1063			
○	148	65	493			
○	24	39	27			
(株)兵庫確認検査機構 兵庫県姫路市西夢前台 0792-68-3700 0792-68-3703 http://www.h5.dion.ne.jp/~nkikou/ H13.1.11 兵庫県知事 兵庫県	・高さ45m以下 ・搭状比5以下 ・片側土圧3層以下 ・片側土圧高さ10m以下				審査が速い 親切・丁寧にお答えします 土曜日も営業しています	
○	3660	3540	2720			
×	50	190	980			
○	40	2	50			
○	0	1	1			
(株)近畿確認検査センター 兵庫県西宮市池田町9-7-215 0798-39-1271 0798-39-1272 http://www.kinki-kc.co.jp H13.3.21 兵庫県知事 兵庫県内 神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、明石市、加古川市、高砂市、篠山市、川辺郡猪名川町、加古郡播磨町、加古郡稲美町、水上郡柏原町、水上郡永上町、水上郡青垣町、水上郡春日町、水上郡山南町、水上郡市島町	延べ面積10000㎡以下で下記に該当する建築物、工作物(新たに築造されたものに限り)・高さが31m以上の建築物又は工作物・建築物の高さと短辺方向の幅との比が6以下の鉄骨造建築物・建築物の高さと短辺方向の比が4以下の鉄筋コンクリート造建築物・建築物の4層以上にわたって片側土圧を受ける建築物以外の建築物又は建築物の高さ方向に10m以上にわたって片側土圧を受ける建築物以外の建築物				公正・公平・迅速・親切 業務区域、業務内容については国土交通省近畿地方整備局へ拡大申請中(平成16年4月認可予定)	
○	2000	1500	1700			
×	90	505	330			
○	25	110	80			
×	0	0	5			
学校法人 誠和学院 兵庫県姫路市および加古川市 0792-87-3330 0794-56-3330 0792-87-3338 0794-56-3337 - H13.5.15 兵庫県知事 神戸市、姫路市、明石市、相生市、加古川市、龍野市、赤穂市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市、美郷郡、加東郡、多可郡、加古郡、飾磨郡夢前町、神崎郡、揖保郡、赤穂郡、佐用郡、宍粟郡、朝来郡	・高さ45m超・搭状比6超・4層以上又は10m以上の片側土圧				姫路と加古川に事務所を配置し、親切、迅速、安心をモットーに業務を行っております。限界耐力計算の物件も取り扱いいます。	
○但し法88条第2項を除く	1374	1359	839			
○但し昇降機を除く	50		589			
○	41		35			
○	1		2			
(財)なら建築住宅センター 奈良市大森町57-3 0742-27-8601 0742-27-8602 - H12.6.30 奈良県知事 奈良県全域	延べ面積2000㎡以上				迅速、親切丁寧、	
○	2800	2770	2300			
○		30	470			
○	-	-	30			
○	-	-	-			
(財)和歌山県建築住宅防災センター 和歌山市ト半町38番地 073-431-9220 073-402-1405 - H13.3.22 和歌山県知事 和歌山県和歌山市、海南市、海草郡	・延べ500㎡以下で次に掲げる1戸建住宅 ①法第6条1項4号住宅 ②法第6条1項2、3号のうち型式認定住宅				迅速、丁寧、	
×	-	1295	1214			
×	-	10	91			
×	-	-	-			
×	-	-	-			

見学会報告

第二吉本ビルディング

新築工事

三原建築構造設計事務所

三原 清敬

平成15年12月3日JSCA主催の見学会が開催された。当日は55名の参加者であった。大阪駅前の一等地として、現在の吉本ビルの西側に四ツ橋筋を挟んで建設されている。見学時は最上階まで躯体も上がり、外壁のカーテンウォールの取付けや間仕切りが下階より追っかけて施工されていた。

このビルのコンセプトは、①形態として吉本ビルとの調和と独自性、都市環境への貢献、②機能として商業とオフィスの効果的共存、使いやすくメンテもしやすい事、③経済として高品質と高収益性、大人を指向した商業企画、④時間としてハービスⅡ期（隣接建物）と同時営業となっている。以上をこめて20m×60m×高さ100mの透明な直方体としている。

竹中工務店の設計施工で、工期は2002.6～2004.9である。地下4階、地上20階でB4F～B3Fは駐車場、B2F及び5～7Fが飲食店（6～7Fの一部が多目的ホール）、B1F～4Fが物販店、8F以上はほぼ全体がスパン20mの無柱空間のオフィスとなっている。

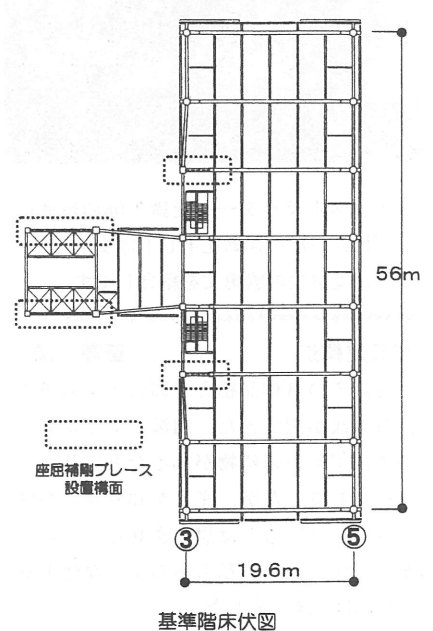
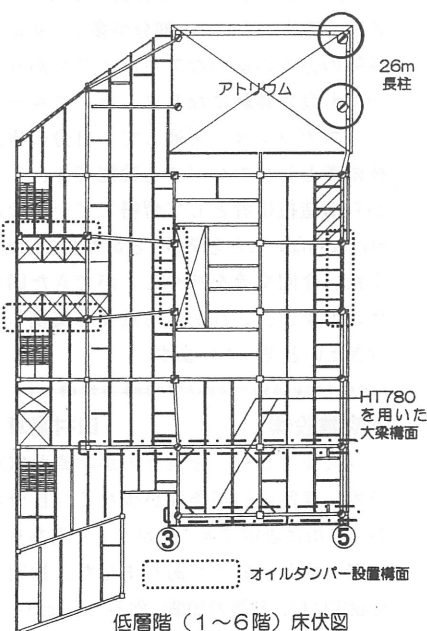
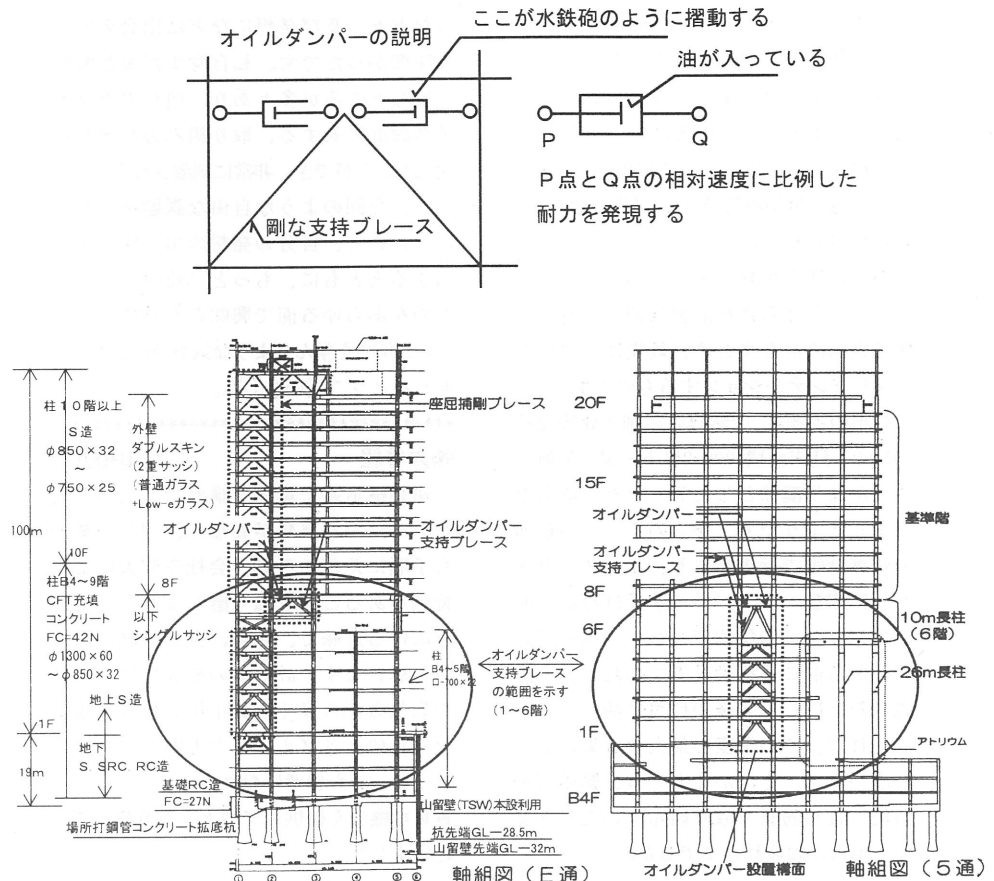
オフィス部の階高は4.0mで、天井高を2.8m、フリーアクセスフロアを15cm厚、L.Lは0.5t/m²としている。延床面積は43702m²で構造概要については右図に示す。

特に設計上考慮された点は、①6階に階高10mの多目的ホールがあるため6階には10mの長柱があり、1～6階に達するアトリウムには26mの長柱がある。②1～6階は柔軟なフレームとなるので、オイルダンパー（200t迄負担できる）がセットされたK形ブレースがX、Y方向共設けられている。1～6階にオイルダンパーを設けたのは上階に比べて下階の剛性が低く、より効果的にオイルダンパーが撓動するからである。オイルダンパーは各階耐力比で20%程度の負担となっている。K形ブレースの上端のシアパネルは梁とは接合せず、ダンパーは図のように梁下に取り付けられている。このダンパーは静的剛性には寄与せず、動的作用に対して剛性を高める働きがある。③8階以上のブレースには、H形鋼に角形鋼管を被せて座屈を抑止している。④偏心を抑えるため、2F～6F床の一部の梁にHT780（神鋼製）の高張力鋼が使われている。

る。降伏点強度630～750N/mm²、引張耐力780～930N/mm²であり、F=6.3t/cm²と設定されている。BH-600×300×16×25で、溶接施工試験により溶接条件を定めている。（予熱50℃、パス間温度200℃、30KJ/cm）

⑤CFT柱のコンクリート打込みは、地上は

1Fより圧入打上げ、地下は1Fより落としこみにより施工している。見学していつも感じることは、設計、施工に取組んだ方々の人生観が結集された作品のように思うものである。



第8回 若手技術者育成講座



事業委員長

小林 勝一

平成16年2月5日大阪YMCAにて受講生21名とインストラクター、受講生OB8名で若手技術者育成講座が開催された。このユニークな講座は将来構造設計分野での活躍を期待する若手技術者にJSCAの魅力をよく知ってもらう目的で平成8年にスタートし、毎年恒例の行事として既に今年で8回目を迎えました。

内容は受講生4〜5名で1つのチームを編成し「与えられた演習課題」に対して構造企画設計をまとめ、最後にその成果をプレゼンテーションするものです。

今年の課題は「2階建の店舗・建築面積1000m²、延床面積2000m²以下・梁下5.0m」で、かなり漠然としたテーマが受講生を悩ましたようです。殆どのチームが最初の建築計画で行き詰まり、インストラクターに相談・アドバイスを受けながら進めていたのが印象的でした。「構造設計者である前に建築設計者であれ」との認識を新たにして今後の仕事に活かしてもらえれば、この講座の最大の成果のように思います。とにかく丸一日、緊張感を持続し真剣勝負で取り組んでいただきまして本当にお疲れさまでした。



又インストラクターや受講生OBの皆様にはご協力いただき御礼申し上げます。以下に受講生の感想文を紹介します。

㈱三建構造

齋藤 順

受講者OB作品紹介で同じ大学の講座出身S氏が出てきた。灘浜にある安藤氏の作品で面白い建物があるなど以前から気にはしていたが、まさか知り合いが構造設計しているとは思いませんでした。驚きです。いずれ私もあのような仕事が出来ればと感じました。

実習では、実務で意見を交えながら意匠計画まで踏み込んで工法等を決定してい

く会議をすることがあまり無いのでどう進めればいいのか戸惑いました。

いろんな発見が有って刺激になりました。

㈱ゼン建築構造事務所 米倉夏子

普段、他の構造技術者と交流する機会が少ない中、この様な講習会で、いろいろな方々、及び発想などに会えて、興味深かったです。私自身まだまだ勉強不足なところが多々あり、他社の方々の構造設計に対する、取り組み方などを垣間見ることができ、非常に刺激されました。また、今回のような自由な課題をさせていただいて、自分の発想の巾の狭さを実感するとともに、もっと「建物」というものをあらゆる面で興味をもって見ることの大切さを学んだような気がいたします。ありがとうございました。

㈱大林組

和田裕介

建築構造系で集まる講座でしたが、同じテーマでも発想が異なり、同じ作業でも手順に差がある等、会社や個人により特色があることを強く感じました。視野を広げる意味で、非常に良い経験になったと思います。計画案の発表では、講師の先生方から多くの御指摘を頂き勉強になった他、各グループの提案やプレゼンテーションも参考になりました。貴重な機会を提供して頂き、有り難うございました。

㈱竹中工務店

池内邦江

ゼロの状態から構造計画を提案する、時間内に意見をまとめて発表することは、普段の業務に活かせる部分が多く、更に、講師の方々の適切なアドバイスもあり、とても良い経験になりました。グループディスカッションを通して、自分の構造技術者としてのレベルを確認でき、これから構造技術者として習得していかなければならないことを学ぶことができました。また、今回交流を持つことができた同世代の方々と、これからも意見を交換して行きたいと思っています。

鹿島建設㈱

田村嘉章

「大変でした」と言うのが率直な感想です。課題の初期条件が少なく、自分たちで自由に設定できる点が楽しくもあり、実際大変な部分でもありました。初期条件設定には、建築の知識は然ることながら、建築への興味が大きくかかっているように感じました。これからは、今まで以

上に興味（好奇心）を持って建築に接していかなければと思いました・・・と言うように、建築への「かかわり方」を考える時間を与えていただいた点で、今回の講座はとても有意義なものでした。

㈱北條建築構造研究所 廣田右喬

今回、『若手技術者育成講座』を受講して非常に多くのことを学び、また多くのことを再認識することができました。とてもいい機会だったと思っています。特にワークショップを行ったことで、短い時間のなかで自分の考えを相手に伝え相手の考えを理解するということが、いかに難しいことであり、そしていかに大切かということを感じました。今回のこの講座で学んだこと、聞いたこと、感じたことを今後の構造設計の実務の中でいかしていければと思います。

㈱SDネットワーク

崔 庸真

今回、JSCA関西支部の若手技術者育成講座に参加して感じていることは、大変意義深い経験をさせていただいたということです。普段の設計実務とは違い、自分と同年代の技術者の皆さんと議論を重ねながら構造計画を進めるということが、とても新鮮に感じられました。また自分では思いつかないような大胆な構造計画案が多数発表され、驚くと同時に勉強させられました。今回の経験が無駄にならないよう、設計実務においても一つの決まった道筋ではなく、可能性がある限り、多方面から建築構造設計に取り組んでいきたいと思っています。

㈱山田建築構造事務所

滝口泰

普段、中心的な立場で構造計画に携わることが無かった私にとって、若手育成講座の場で構造計画に楽しく挑戦することができました。グループで考えたプランに対して、実務では決して経験することが無いような計画をしようと、今まで雑誌等でみてきた建物を思い浮かべ、色々な工夫を取り込んだ計画をしました。計画を進める上で、改めて部材の応力や変形のオーダーを掴む力、複雑な形状を解析する力が必要であると実感しました。今回の経験をこれからの仕事に少しでも生かしていきたいと考えております。

㈱竹中工務店

平山貴之

JSCA関西支部若手技術者育成講座の集まりに参加でき、同世代の同じ構造設計を職能とする方々と共に、自由な設定の課題でテーマを設定し、議論して構造計画を進めてゆくという、日常では経験できない非常に貴重な時間を経験できたと感じています。会社にて業務の経験を徐々に積んでゆく中でそれが、スキルアップに繋がってゆくのを感じながらも、“自分の会社に染まってゆくのでは…果たしてそれは一般的にどうなのか？”という一抹の不安を抱いていた私にとって、この交流の機会を通じて、参加者及び講師の方々のご意見を、このタイミングで得られ非常に新鮮な思いで帰路に着きました。今後、本日得られた交流を活かしつつ、技術者としてのスキルの向上に努めて、構造設計を楽しみたいと思います。

㈱大林組

三井達雄

先日は大変お世話になりました。講師の方々、若年技術者の方々に厚く御礼申し上げます。社外の方とお話する機会があまり無かったので大変貴重な機会を頂いたと思っております。午後から行われた構造計画実習の中は、他社技術者とコミュニケーションを図り、時点での私自身の技術力を再認識する事ができました。業務に対するモチベーションアップに繋がったと思います。まだまだ未熟者ではありますが、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

㈱三建構造

大石えりか

自分とは全く違う環境の中で構造をされてきた方々と一緒に講習を受けたことで大きな刺激を受けました。グループ毎に様々なコンセプトや構造が発表され、ひとつのテーマに対する視野を広げるいいきっかけにもなりました。普段の業務ではひとつの建物をまるごと設計することがあまりなかったので、これを機に勉強していきたいと思います。受講者OBの方の作品紹介からも興味深いお話を伺うことができ、構造に対して意識を高く持つ必要を改めて感じました。

清水建設㈱

門脇 秀宜

業務の中で、ほとんどの場合、基本計画は与えられるものであったので、出されたアイデアに対して検討することはよくあるが、何もない状態からという状況は戸惑いがあった。なかなか、仮定与

条件→基本コンセプト→構造計画上の処理と順路通りとはいかなかったが、グループ議論の中でなんとか軌道修正しつつ構造的合理的にまとめられたように思う。これからも問題に向き合った時に解決するための選択肢がより多く出せるように、知識経験を獲得していきたい。

バンドー化学(株)

加奈森聡

本講座を受講したことは私自身にとって大変有意義なものであったと感じています。私の業務は免震層の設計や装置の開発で、上部構造の設計を行う機会ほとんどありません。従って、当然本講座の課題（構造設計）は私にとって非常に難しいものでした。しかし、構造設計のプロの方々の構造設計に対する考え方、業務フローなどに直接接することができ、非常に勉強になりました。講師の方々、チームの方々に心より感謝するとともに、次回も是非参加したいと思っています。

㈱ゼン建築構造事務所

春風隆志

初めて若手技術者育成講座演習に参加させてもらい、とてもいい経験ができた。いつもの仕事での構造設計においては、意匠図あつての構造設計である。今回は学生の頃にやった演習の様なもので、ほぼ自由な設計のできるものであった。少し構造についての知識を持ちながらというこの自由さが、すごく難しいところだった。また、普段自分が建物をよく観察していないということを実感させられた。構造設計に関する知識・内容を豊富にするためにも、日頃の建物に対する取組みを大切にしようと思った。

㈱竹中工務店

前田達彦

同世代の構造設計者および建築関連業種と意見を交換する機会が持て、非常に有意義な研修でした。自分の構造計画に関する選択肢をもっと増やさなければいけないことを実感しました。竹中工務店田中利幸講師が、「若い間に良いストレスをためよ」「若い間に実現できなかった構造計画をあたためつけ、将来自分が計画をできるようになったときに十分にストレスを発散せよ。」とアドバイスされたことが印象的でした。

㈱和田建築技術研究所

小林豊治

今回の課題では、通常と異なり、用途と大きさ以外は何でも決めれることに最初は当惑したが、構造のおもしろさを出

すことを主眼として、デザインを決定した。常識的手法である耐震要素の集約によるその他の架構の自由化や吹抜による変化のある空間の演出を踏まえてそれ以上の構造的表現の達成を目指し、細長いプランの中央に宙ぶりの商談スペースを設けるフィーレンディールトラスでの架構を提案した。構造計画から、建築計画のアプローチもでき得ることを理解した。

㈱竹中工務店

熊野豪人

同世代の技術者と意見交換する機会を戴き、価値観の多様性を実感すると共に、自分の意見を他人に理論立てて説明するよい訓練になりました。グループとして意見を取りまとめる際には、理論的に説得力がありかつ構造計画的に面白みのあるものを取捨選択しましたが、メンバーの賛同を得る過程は反論あり厳しい指摘ありで非常に勉強になりました。また、発表内容に対して講師の方々からの確なご指摘を戴き非常に参考になりました。今後も今回得られた交流を深めつつ、スキルアップに努めたいと思います。

(有)桃李舎

桑島由美子

今まで比較的時間があるなかで、見落としの無いように細部に注意して設計することに気を配って仕事をしてきました。それが最重要だと考えていますが、今回他の企業や事務所の方との作業を通して、限られた時間で設計の概念等をまとめる能力が自分には足りないと感じました。知識を増やすのと同時にそのことも意識しながら仕事をしていこうと思いました。普段の仕事だけでは経験できない充実した一日になりました。ありがとうございました。

㈱塩見

前田隆志

この講習は、日ごろさまざまな所で、さまざまな立場で設計活動を行っている若手たちが、一つの目的にむけ知恵を出し合い、計画をまとめ上げる事を目標とするもので、日常においてあまり無い試みであるので非常に面白いと思った。実際みなとても自由な発想で意見を交換した上でプランをまとめ上げたが、意外な発想などもたくさんあり、結果の善し悪しは別として自分にとっては刺激的なものであった。なお若手の交流の場と言う意味でも非常に有効な講習会だと思う。

震災10年事業について

震災10年事業企画委員会
委員長 辻 幸二

はじめに

1995年1月17日の早朝に発生した阪神大震災は、被災された方々は言うまでも無く、私たち構造技術者にとっても忘れられない出来事、尊い教訓です。2005年1月17日は、あれから丸10年目に当たります。JSCA関西支部では、これを契機に、この10年を振り返り「震災前後で構造技術がどう変わったか」を検証し、将来予想される東南海・南海地震等の巨大地震にどのように備えるのかを社会に啓蒙し、併せて私たち構造技術者の存在をPRしたいと考え、以下の二つの事業を企画しています。この事業を通してJSCA関西支部が益々活性化することを期待しています。

（震災10年事業企画）

1. シンポジウム「震災前後で構造技術はどう変わったか」の開催

・シンポジウムは、一般市民向けと構造技術者向け（学生等を含む）の二本立てとする。

一般市民向けは、1月16日の午後に開催

する。基調講演とP.Dをメインとし、講演会場の免震レトロフィットの見学を組み込む。

・基調講演は一般市民が興味を持ち、分かり易い表現で、東南海・南海地震等の話、津波の話、木造の耐震改修の話、JSCAのPR等とする。講演者は安藤（名大）、河田（京大）、目黒（東大）、矢野（JSCA）、新聞社論説委員、JSCA木造分科会から、数名（3名以上）依頼する。P.Dの司会は新聞社論説委員、全体司会はJSCA会員が勤める。

・構造技術者向けは、1月17日の終日を利用し、構造展との兼ね合いで詳細を詰める。震災前後の構造技術がどう変わったかの検証と将来予想される南海地震等を見据えた議論を、各分科会30分程度で報告する。報告内容は参加者に配布することを前提にまとめる。

・会場は大阪市中央公会堂大ホール（収容人数最大800名）とする。

2. 震災をテーマとした構造展の開催

・各府県1箇所ずつが望ましいが、京滋会はまとめて1個所、和歌山は中止も止むを得ない。

・大阪は中央公会堂でシンポジウムと同

時開催とする。会場は別の100㎡程度の部屋。

・大阪以外の会場は、できる限り無償で駅に近い会場を探す。

・スケジュールは、大阪会場が最後になるように調整する。

・開催日は、休みが入るようにする。（金・土、又は土・日）

・被災状況のビデオ等は著作権等の問題が起きないものを使う。

・構造展のパネル製作、会場のスタッフ、見学動員等各大学等の協力を働きかける。

（時期はもう少し詳細が固まってから）

シンポジウム「震災前後で構造技術はどう変わったか」に向けた検証作業は、関西支部の技術委員会各分科会が中心になって、構造展の準備は竹中工務店の前野さんを中心に構造展WGが精力的に進めています。JSCA関西支部の会員の方で、一緒に10年事業に取り組みたいと思われる方は事務局又は各分科会の主査まで御連絡ください。誰かがやってくれるのを期待するのではなく、自分が何をできるかが問われています。自分のできることを始めましょう。

事務局だより

2004年度支部総会、定例研究会および懇親会は5月20日（木）に予定しておりますので、会員皆様方の多数のご出席をお願い致します。

2004年度支部総会5月20日（木）

13：30～建設交流館グリーンホール

支部役員会4/27

技術委員会4/2震災10年記念事業、定例研究会

事業委員会4/20

広報委員会4/14Structure Kansai、No.82編集、No.83企画会議

震災10年事業企画委員会2/16、3/23構造展、シンポジウム

構造展実行WG2月/26、3/25、構造展示会の討議

講習会「木造軸組構法の新しい耐震設計法がマスターできる実務講習会」4/7、5/12、

6/2安田ビル参加者：20名

地盤系分科会2月12日「建物の実測沈下と基礎の現状」講習会報告、震災10年記念事業の検討、本部地盤系部会WG協力RC分科会1/20、3/26震災10年記念事業について

情報システム分科会3/18震災10年記念事業、「入力地震動、解析」、建築設計と電子納品、耐火被覆材の最新動向（ニチアス、日本ペイント）

工業化・PC分科会2/134/7「はじめてのPC・PRC構造」の改訂、震災10年記念事業、新しい技術の紹介、PC耐震補強、PC構造免震建家の具体例の紹介耐震設計分科会2/12震災10年記念事業、免震建物に関する構造リーフレットの紹介

構造計画分科会2/20住友生命中之島ビル現場見学、3/31設計事例紹介、

震災10年記念事業

木構造分科会2月4日木構造設計に伴う問題点の討議、震災10年記念事業、限界耐力計算の実務講習会、3/3進行中の新規PJの報告、震災10年記念事業

法制分科会2/5法制分科会の進め方、震災10年記念事業、建築基準法改正後の動向、3/25「計画通知」、「構造監理」のあり方や責任、震災10年記念事業

教育活動若手構造技術者（会員外）の育成講座2/5大阪YMCA、参加者：21名

支部報Structure Kansai No. 81号発行サテライト活動（JSCA奈良会）2/28場所：春日野荘、内容：震災10年構造展打合せ

親睦会（ゴルフ親睦会）5/12交野カントリークラブ

関連団体との交流：建築関連14団体事務局会議3/23大阪建築設備設計事務所協会

建築構造用語事典

学生も実務者も
知っておきたい
建築キーワード

（社）日本建築構造技術者協会
建築構造用語事典編集委員会

建築技術

この度、JSCA関西支部から建築構造用語事典を発行いたしました。この事典は、構造が専門でない方々にいかにわかりやすく構造用語を説明し、よりの確に理解していただくに重点を置いたものです。多面的な見方も可能なように、3名のベテランの構造技術者がひとつの用語に解説を加えています。一昨年来、月刊誌「建築技術」に2用語ずつ連載しておりましたが、読者に好評で今回単行本の発行の運びとなりました。JSCA関西支部会員の140名近くの方々が用語解説の執筆をされるという広がり大きな出版企画となりました。これからもよい出版企画があれば実現していきたいと思っております。会員の皆様からの積極的な提言を期待しております。

編集後記

皆様お忙しい中、原稿、アンケート、感想文にご協力いただき、誠にありがとうございました。遅れずに発行する事が出来ました。日常業務の一助になれば幸いです。

『執筆者が多数に亘る企画は大変だ。』改めて実感しました。

締め切りが過ぎたと催促の電話をかけまして大変失礼しました。事務所で電話して、周りから白い目で見られてました。

（三輪、畑）

発行（社）日本建築構造技術者協会
関西支部事務局
〒550-0003大阪府西区京町堀1-8-31
安田ビル3階

Tel06-6446-6223 Fax06-6446-6224